

地域包括ケア病床のご案内

西城病院では、2020年8月より入院病床の60床のうち10床を【地域包括ケア病床】に転換いたします。

- ・地域包括ケア病床とは

急性期治療を経過し症状は安定したものの、もう少し様子を見ながら在宅生活へ戻るための準備やリハビリが必要な方などが入院する病床です。入院期間は保険診療で規定されており、最大で60日までです。

- ・どんな場合に入院となるのか

急性期の治療後も退院を目指したりハビリが必要とされる方

経過観察が必要な方や症状が安定し在宅復帰に向けてリハビリが必要な方

在宅復帰に向けて療養準備が必要な方

かかりつけ医や訪問診療医によって一時的な入院が必要と判断された方

- ・入院費について

入院費は定額でリハビリ、投薬、注射、処置、検査、画像診断などの費用が含まれております（手術、食事などは出来高になります）また、月の医療費の負担上限は一般病床と変わりありません。